

第8期北海道総合開発計画(平成28年3月29日閣議決定)において、「世界の北海道」を目指し、北海道の強みである「食」と「観光」を戦略的産業として位置付けており、引き続き食と観光を担う「生産空間」の維持と発展に取り組んでいく必要があります。具体的には、激甚化・頻発化する気象災害や切迫する大規模地震、インフラの老朽化の現状を踏まえ、「強靱で持続可能な国土の形成」に向けて、道路交通ネットワークの耐災害性の強化、老朽化対策、交通安全対策、冬期交通の確保等、社会資本の戦略的な維持管理・更新を推進します。

また、多様な機関との連携のもと、「食と観光を担う生産空間の維持・発展と人が輝く地域社会の実現」及び「世界水準の観光地の形成」に向け、シーニックバイウェイ北海道、サイクルツーリズムの推進等に取り組めます。

## ●強靱で持続可能な国土の形成

今後も懸念される大規模自然災害に備え、防災・減災対策、老朽化対策、交通安全対策等を推進するとともに、ICTを活用した施工の効率化を推進します。

また、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」(令和2年12月閣議決定)を踏まえて令和3年4月に策定された「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム(北海道ブロック版)」に基づき、耐災害性強化や災害時におけるネットワーク確保のための取組を重点的かつ集中的に推進します。



道路の防災対策(小平防災)



ICT施工の導入(苫前町力屋)



冬期の防災対策(防雪柵設置)

## ●シーニックバイウェイ北海道の推進

みちをきっかけに地域と行政が連携し、美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりを行う取組です。留萌管内で活動する「萌える天北オロロンルート」と協働で取組を推進します。



【サイクリスト応援カー】

トラブルに見舞われたサイクリストに自転車修理工具を貸し出す官民一体で支援する取組



自転車修理工具



種播き作業

【エゾカンゾウの保全活動】

国道232号沿線の自生種の保全に地域協働で取組み、留萌らしい道路景観の形成を目指す活動



エゾカンゾウ

## ●サイクルツーリズムの推進

増毛町から天塩町の全長約140kmに及ぶ「オロロンライン・サイクルルート」において、安全で快適な自転車走行環境の整備を推進するほか、サイクリストの受入環境の向上、情報発信及び地域独自の取組など、官民一体で自転車の利用環境向上の取組を推進します。



オロロンライン・サイクルルート 連絡会議設立総会(R4.12)



オロロンライン(国道232号初山別村)

## ●「道の駅」第3ステージ※の推進

道の駅を地方創生・観光を加速する拠点として、インバウンド受入環境や子育て応援施設の整備、防災拠点としての機能強化を推進します。

### インバウンド受入環境の構築



外国人対応可能な観光案内所の駅[てしお]

### 子育て応援施設の整備



24時間利用可能な授乳室 道の駅[るもい]

おむつ自販機 道の駅[えんべつ富士]

### 防災拠点としての機能強化



無停電電源の操作確認 マンホールトイレの設置 防災資材倉庫 道の駅[てしお]での防災訓練の様子

以下の二次元コードより道の駅第3ステージの情報をご覧いただけます



[https://www.mlit.go.jp/road/Michi-no-Eki/third\\_stage\\_index.html](https://www.mlit.go.jp/road/Michi-no-Eki/third_stage_index.html)

## ●道路事業の概要

路線名	主要事業
E62 深川・留萌自動車道 国道233号	【老朽化対策】橋梁補修等
国道40号	【天塩防災】地吹雪による視程障害の低減
国道231号	【含熊交差点改良】事故危険区間の解消【令和5年度新規】 【老朽化対策】トンネル補修等
国道232号	【小平防災】法面崩落、越波等による危険箇所の解消 【高砂橋架替】高砂橋の架替 【羽幌町栄町交差点改良】事故危険区間の解消【令和5年度新規】 【留萌路肩改良】事故危険区間の解消 【老朽化対策】橋梁補修等 【防災対策】法面対策等
国道239号	【霧立防災】地すべり等による危険箇所の解消